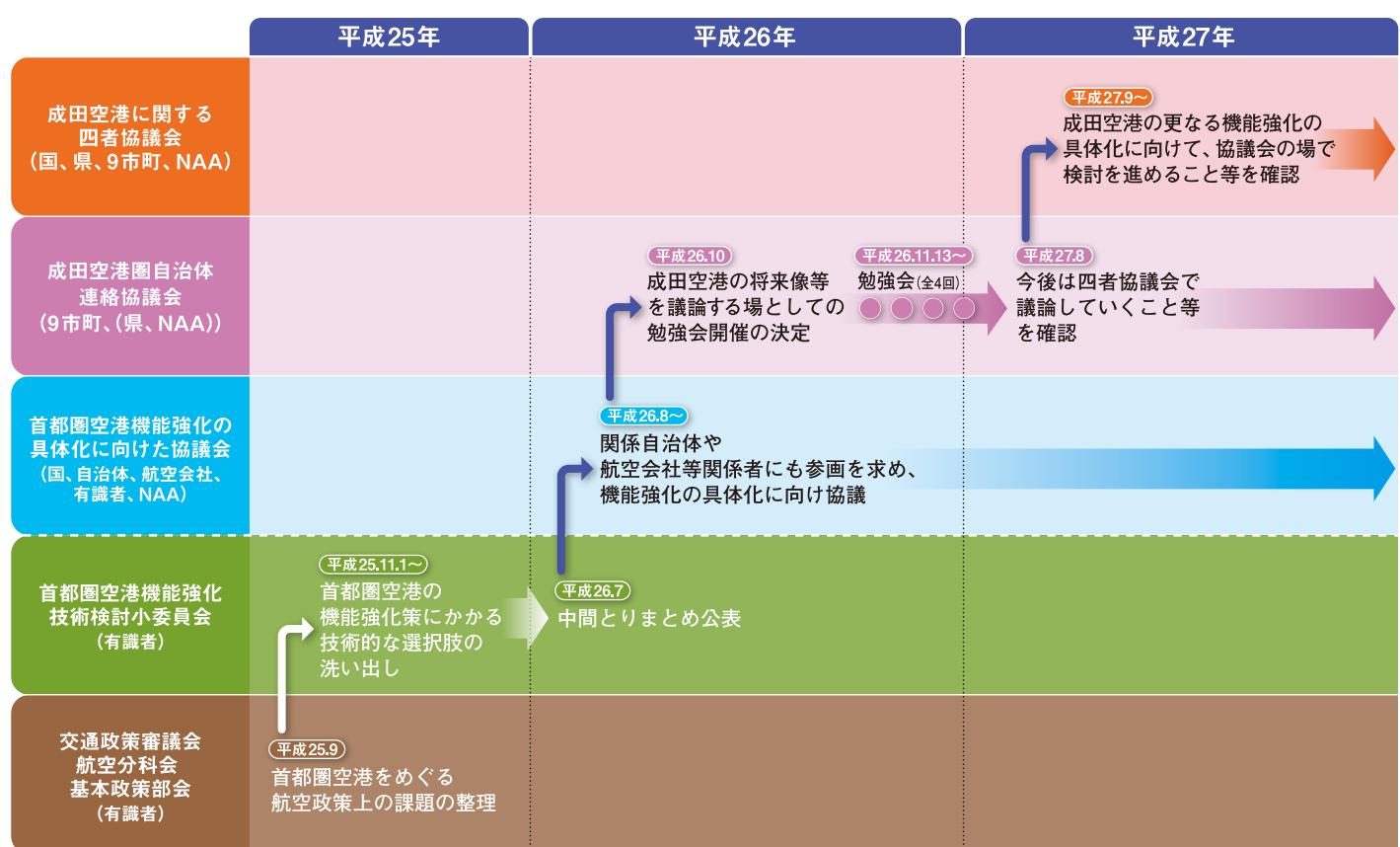


今後どのように機能強化の検討を進めていくのでしょうか？



- ▶機能強化につきましては、地域の皆様のご理解・ご協力をいただけるよう、地域の皆様から丁寧にご意見を伺いながら検討していきたいと思います。
- ▶随時ホームページ等を利用して情報提供をさせていただくとともに、今後皆様からご意見をお伺いする機会を設けさせていただくことも考えております。
- ▶成田空港の機能強化に向けて、ご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

△機能強化に関する議論の経緯



〈お問合せ先〉

NAA 成田国際空港株式会社
NARITA AIRPORT

0570-000-955 (受付時間：平日9:00～17:00 (12/29～1/3を除く)) www.narita-kinoukyouka.jp



Ver.2

成田空港の明日を、いつしょに

—成田空港の機能強化について検討を開始しました—

なぜ今、
成田空港の機能強化を実施する必要があるのでしょうか

成田空港の機能強化とは？

首都圏の航空需要に対応していくため、新たな滑走路を整備することなどにより、空港の発着容量を拡大させるとともに、より利便性の高い空港にしていくことです。



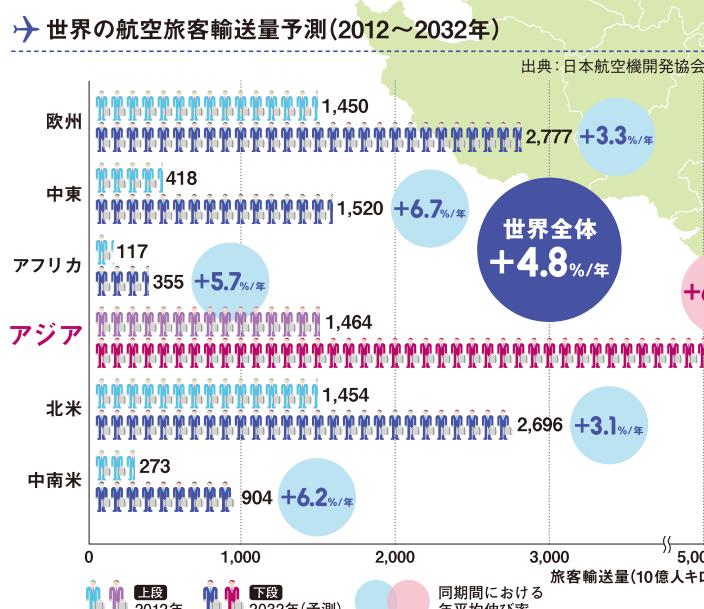
答えは中面をご覧ください。



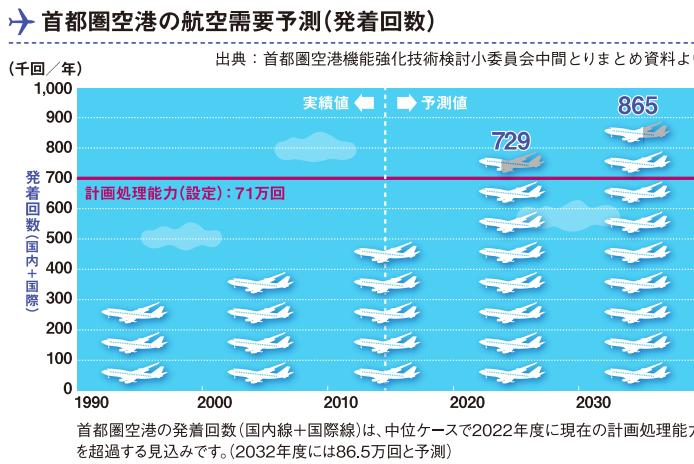
Q1 なぜ今、成田空港の機能強化を実施する必要があるのでしょうか？

A1 アジアにおける厳しい空港間競争にさらされる中、成長する航空需要を取り込み、日本の経済や社会を成長させるとともに、周辺地域の活性化を図るためにです。

理由 アジア太平洋地域における航空需要の拡大、訪日外国人の急増



理由 2020年代、首都圏空港の発着回数は現在の処理能力を超過



NAAといたしましては

- ▶このような理由から、成田空港の機能強化を実施することにより活発化する人や物の流れを取り込み、日本の経済や社会の成長に貢献したいと考えております。
- ▶これにより、成田空港周辺地域の活性化にも資するものと考えております。

Q2 機能強化によって、航空機騒音の影響が大きくなるのではないかどうか？

A2 騒音対策をはじめとした環境対策をしっかり行い、地域にお住まいの皆様の生活環境を守ってまいります。



NAAといたしましては

▶成田空港は内陸空港であることから、環境対策は非常に重要なことと考えており、これまで移転補償や防音工事、自治体への周辺対策交付金を活用した各種施策など、皆様の生活環境を守ってまいりました。
※左に挙げた対策は環境対策の一例です。

▶航空機材の小型化や低騒音化が進展しているものの、機能強化により発着回数が増加すれば、航空機騒音の影響が大きくなることが考えられます。

▶それに応じた必要な環境対策をしっかり行い、引き続き空港周辺地域にお住まいの皆様の生活環境を守ってまいります。

Q3 機能強化は私たちにとってメリットのあることなのでしょうか？

A3 周辺地域への経済波及効果、雇用創出効果、税収増などが期待されます。※表示の数字は2014年



NAAといたしましては

- ▶地域と空港の共生共栄を目指し、機能強化によってこれまで以上に地域と成田空港と一緒に発展できるように精一杯努力していきたいと考えております。

成田空港の現状

国際線
>>>



航空旅客数
1日 約80,000人



発着回数
1日最大 約490回



就航都市数
36ヵ国 3地域
106都市

国内線
>>>



航空旅客数
1日 約17,000人



発着回数
1日最大 約130回



就航都市数
17都市



乗入れ
航空会社数
87社



国際航空
貨物量
約200万トン

*1 2014年度実績
*2 2015年冬ダイヤ